



岸本 直子 (日本共産党)

### 生活保護、緊急援護資金貸付の拡充、 エアコン購入費用へ助成を



#### エアコン購入費用へ助成を

**問** 生活保護制度は憲法25条に明記された生存権を守る最後のとりで①厚生労働省は「生活保護の申請は国民の権利」と認め、中野区等でも独自のポスターを各施設に掲示。コロナ禍でも市民が困った時に相談できるように市でも掲示し広く知らせるべき。「生活保護のしおり」の市内各施設への設置などの拡充を②市のケースワーカーの担当件数は標準より多い。市民への丁寧な対応のために増員し体制強化を。  
**福祉部長** ①生活困窮の方がためらわず生活相談や生活保護申請ができるよう公民館等へのリーフレット配架や市HP等への

掲載など、周知方法の充実を図る②ケースワーカーによる支援だけでなく、各関係機関の専門性を生かした支援とともに人材育成の確保、育成に努める。  
**問** コロナ禍だからこそ緊急援護資金貸付の支援拡充を。  
**福祉部長** 生活困窮者への支援は迅速な対応が必要。緊急援護資金貸付制度のほか他制度等も活用し状況に応じた支援を行う。  
**問** 酷暑から市民の命を守る対策について①生活保護の新規受給者はエアコン購入費支援がある。対象外の保護受給者へ設置費用・夏季加算支給で電気代支援を②生活保護対象外の低所得者、特に非課税の高齢者世帯などに購入費支援の実施を求める。  
**福祉部長** ①支給対象外の世帯へは、生活福祉資金貸付の案内など実情に応じた支援を実施。電気代相当額の支援では、冷房器具の支給要件見直しや冷房利用の電気代等の加算について引き続き都を通じ国に要望②4年度は調布市生活ほっとあんしん相談事業の継続と非課税世帯へ市独自の給付金事業を実施予定。



川畑 英樹 (チャレンジ調布2)

### 調布市の財産を活用した 魅力創出について



**問** 調布市の大きな財産である、映画資源と水木マンガ資源を活用した観光振興について見解は。  
**市長** 重要な地域資源と認識。地域資源を活用した魅力ある観光振興の実現に取り組む。  
**問** 調布駅周辺で夢のあるワクワク感あふれる演出で観光振興のための魅力を創出する考えは。  
**産業部長** 映画・映像関連企業との連携を継続し、地域資源を活用したしつらえにより来訪者を魅了できるよう取り組む。  
**問** 映画のワンシーンが近くにある映画のまち調布として盛り上げるというイメージラッピングを商店会・商工会との協力で

できないか。市の考えは。  
**産業部長** 調布にゆかりのある映画・映像作品を活用した装飾について、多様な主体と連携しながら実施方法を検討。  
**問** フィルムコミッションにおけるロケ誘致の現状は。  
**産業部長** 3年度は最多の70件の問合せ、ロケ支援は126件。  
**問** 市役所の正面玄関にてロケ地となった映画などのポスターや水木マンガの展示、水木しげる生誕100周年を発信できないか。  
**産業部長** 効果的なおもてなしにつながるよう、空きスペースの活用や見せ方の工夫を行う。  
**問** 水木しげる氏の漫画財産の



「生活保護の申請は国民の権利です」ポスター (出典：中野区HP)



境港市水木しげるロード 目玉おやじ像・子なきじじい像

声の市議会だより・  
点字版市議会だよりを  
御利用ください

活用と継承について、どのように観光振興等に活用するのか。  
**産業部長** 水木プロダクション等の関連企業と連携し、平和祈念や観光振興などの多角的視点からまちづくりに生かしていく。  
**問** 市の魅力の効果的発信のために、関係部局の連携を図ることが肝要。今後の横断的連携は。  
**市長** 次期総合計画でも、調布の更なる発展に向けて、引き続き市庁内横断的な連携を図る。

通常の印刷文字による読書が困難な方や、目の不自由な方も市議会の情報をお知らせするために発行しています。  
○声の市議会だより  
・カセットテープ版  
・デジター版(専用機器で再生するCD)  
御希望の方は、議会事務局(市役所4階)へ御連絡ください。  
042-481-7291  
042-481-5119  
○点字版市議会だより  
御希望の方は、市立図書館利用支援係(文化会館たづくり6階)へ御連絡ください。  
042-441-6191  
042-441-6190

### 65歳以上高齢者の加齢性難聴者への 補聴器購入費助成実施を



両宮 幸男 (日本共産党)

#### 補聴器購入費助成実施を



**問** 現在策定中の次期基本構想(案)の概要と特徴はどのようなか。  
**市長** 現行基本構想を継承しつつ、共生社会の充実や脱炭素の取組、デジタル化等の視点追加  
**問** 現行基本構想や次期基本構想(案)で、高齢者はどのように位置づけられているか。  
**市長** 高齢者と地域のつながりを創出することによる地域での見守りの推進などに取り組む。

**問** 手帳を持たない加齢性難聴者の放置は、補聴器の有用性を認めながら、事実上、聞こえの加齢性難聴者の補聴器購入助成

無作為抽出し、調査を実施。加齢性難聴限定ではないが、聞こえの問題で外出を控える高齢者の割合については把握。  
**問** 手帳保持者以外の加齢性難聴者に対する補聴器購入費助成制度の実施を改めて強く求める。  
**福祉部長** 都実施の、中等度難聴者の補聴器購入費補助制度の更なる充実を継続して要望。聞こえの問題を抱える方に対する総合的なサポート体制を検討。

制度実施について認識の変化は。  
**福祉部長** 難聴の概念を幅広く捉え、医学的研究の情報収集や加齢性難聴の予防、進捗を緩やかにするための生活習慣改善に関する啓発などを含め、支援の在り方を研究。  
**問** 厚生労働省調査の補聴器利用とその効果に関する研究があれば、自治体による聴力検診は僅か4自治体。聴覚障害者手帳保持者以外の65歳以上高齢者に対する加齢性難聴の実態調査の現状は。調査していないのであれば全数調査の実施を求める。  
**福祉部長** 65歳以上の要介護認定を受けていない方1千600人を

### 次期基本構想の策定に向けた 検討状況について全員協議会を開催

8月10日に次期基本構想の策定に向けた検討状況について報告を受けるために開催しました。  
市長に代わり副市長から、これまでの調布のまちづくりの成果を基盤としつつ、まちづくりの潮流と課題を踏まえた庁内会議での議論や、基本構想策定推進市民会議で取りまとめを行っている提案書(案)について、報告がありました。

議員からは、Maas等に関して多様なモビリティの活用は市民からの意見について新たな任期を得た市長はどのような期待を持ち、自身の思いをどのように基本構想に注入するか北部地域の新たな公共交通としてワンボックスタイプで実証

### 広域交通問題等対策 特別委員会の審査状況

6月28日に開催し、東京外かく環状道路に関する現状について、3年8月17日に開催された本特別委員会以降の陥没及び空洞に関する内容、経過について都市整備部から報告がありました。

委員からは、本特別委員会に対する情報提供の時期に関する要望/中止されている大泉ジャンクションの掘進工事の現状/東京地裁の工事一部差止め/陥没事故以降の災害により、更なる家屋損壊等が生じた際の責任の所在/追加調査や、低周波音による健康被害に対する市の認識/本事業に関する個人情報漏えいについて質疑があったほか、

